

新型コロナ禍の ふたご子育て状況調査

2020年度調査の報告

3.自由記述回答から見えるコロナ禍におけるふたご育児

藤澤啓子¹・安藤寿康¹・布施晴美²・糸魚川誠子^{3,4}・天羽千恵子^{3,5}・山形伸二⁶

1慶應義塾大学2十文字学園女子大学3一般社団法人日本多胎支援協会4NPO法人ぎふ多胎ネット5ひょうご多胎ネット6名古屋大学

コロナ元年ともいうべき2020年、日本双生児研究学会では日本多胎支援協会と協力し、このときにしか、このときだからこそ把握し、記録し、分析しておかねばならないコロナ禍のふたごの子育て状況についてアンケート調査を行いました。

コロナ禍のふたご育児

■ふたごを育てる母親の育児負担感・ストレスの高さ

■量的分析

- ✓そもそも高い
- ✓コロナ禍での子育てとなり、さらに負担感・ストレスは高まっているのか？
- ✓どのような要因が負担感・ストレスを高めているのか？
 - 家族構成, 夫や祖父母の育児, 就労状況 etc...

本研究の目的

量的分析からは見えづらい「お母さん・お父さんの生の声」から炙りだされるコロナ禍のふたご育児の様子を明らかにする

本研究の目的は、自由記述回答に着目し、量的分析からは見えづらい、「お母さん・お父さんの生の声」から浮彫りになる、コロナ禍のふたご育児のストレスや不安を明らかにすることを目的としました。

方法

➤研究協力者

新型コロナ禍のふたご状況調査回答者(2020/12/3までの回答分)

2020/4/1時点の年齢(4/1時点では妊娠中を含む)

1歳未満	3歳未満	幼児	小学生	中学生	高校生	成人	合計
287	94	119	65	1	1	1	570

本研究の対象から除外: 中学生以上 年齢計算ができないもの(N=27)

➤KH coderを用いて, 自由記述回答について計量テキスト分析を行った。

<https://kncoder.net/>

研究協力者は, 就学statusを明確にするため, 2020/4/1段階の年齢で, 1歳未満, 3歳未満, 幼稚園の時期, 小学生, 中学生, 高校生, 18歳以上を成人とし, お子さんが小学生以下の回答を分析対象としました。KH coderというソフトを使い, 自由記述回答について計量テキスト分析を行いました。

計量テキスト分析

計量的分析手法を用いてテキスト型データを整理または分析し、
内容分析content analysisを行う方法(樋口, 2014)

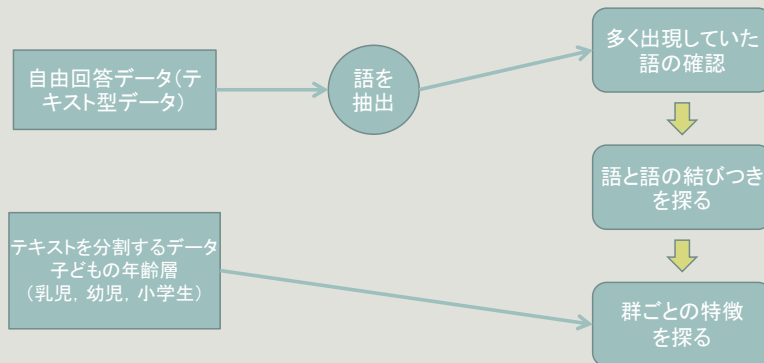
- 量的方法によって、テキスト型データに潜在する論理を取り出す
- 共感的な視点から距離を置いた、より冷静にデータを眺める視点を得られる

計量テキスト分析とは何かというと、単に自由回答のテキストデータを読んでいるだけでは気づきにくい、テキスト型データに潜在する論理、ここでは保護者の思いになりますが、それを取り出すために、計量的分析方法を用いて分析するというものです。

文をいったん語に分解し、その語と語の連関の強さを元に単語の使われる暗黙の意味構造を取り出し、データ理解の枠組みとして用います。

本発表で取り組んだこと

◆自動抽出した語を用いて、恣意的になりうる操作を極力避けつつ、データの全体像を探る



樋口, 2014, p25を参照して作成

本発表では、計量テキスト分析の一番初歩的な段階のもので、自由回答データから言葉を抽出し、どのような語が多く出現していたのかを確認したあと、言葉と言葉の結びつきを共起ネットワークを確認することで探りました。そして、年齢区分から、発達段階による違い、特徴や、年齢に関係なく共通して立ち現れてくるテーマを確認しました。

分析対象とする語の調整

◆強制抽出語

- 上の子/下の子/ワガママ/●歳/他の子/我が子/登下校/登園/兄弟/姉妹/兄妹/姉弟/A/B/主人/ADHD/教育費/教育資金/経済的/子ども

◆表記揺れの統一

- 子ども、子供→子ども
- 喧嘩、けんか、ケンカ→ケンカ
- 兄、お兄ちゃん→兄
- 旦那、夫、主人→夫
- A、B→ふたごの片方
- 兄妹、兄弟、姉妹、姉弟→きょうだい
- 保育所、保育園→保育園

◆除外ワード

- ふたご、双子
- その他、質問文に対応する回答語(後ほど説明)

例えば、「上の子」という文脈で書かれているのに、「上」と「子」に分かれてワードが抽出されないように「上の子」と一つのワードで抽出されるように設定したり、表記ゆれの統一をして、分析対象とする語の調整をしました。また、後ほど説明いたしますが、質問文に対応した回答語を、語として抽出はするものの、分析から除外するワードにしました。

コロナ禍における ふたご・きょうだいの子育てストレス

E-4 現在、どんなことにふたごの子育てのストレスを感じていますか？
(ふたご以外にもきょうだいがいる場合は、それについても書いていただければ幸いです)

➤除外ワード:「ストレス」「感じる」

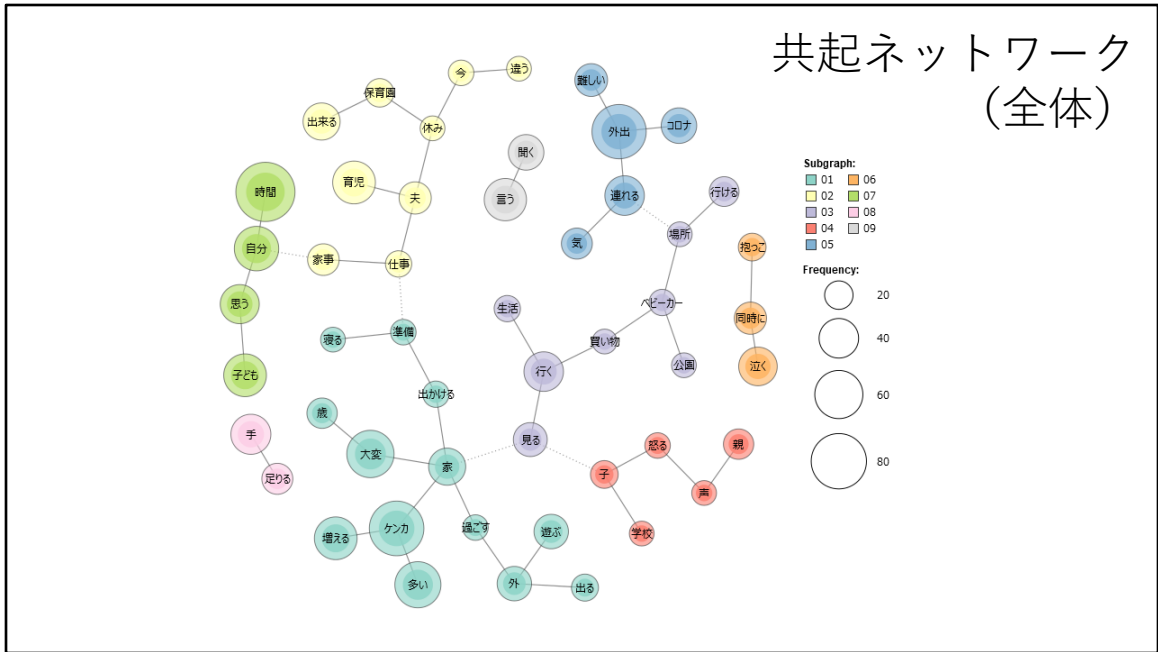
➤文 1049

それでは結果を見ていきます。一つ目は、「現在、どのようなことにふたごの子育てのストレスを感じていますか？」という質問に対する回答です。どのようなことにストレスを感じていますか？という質問に、このようなことにストレスを感じる、という回答が非常に多く、しかし、それはメインの関心ではないので、「ストレス」「感じる」というワードを除外しました。分析対象となった文は1049でした。

頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
時間	92	遊ぶ	30	困る	17	気軽	13	悪い	10	物	9	引く	7
ケンカ	78	見る	29	仕事	17	強い	13	関係	10	夜泣き	9	影響	7
外出	77	難しい	27	出かける	17	少ない	13	行動	10	溜まる	9	起こす	7
大変	58	同時に	26	食べる	17	辛い	13	実家	10	話	9	嫌がる	7
多い	55	夫	26	生活	17	癪癪	13	取れる	10	話す	9	自己	7
自分	51	家事	25	過ごす	16	一緒	12	成長	10	お互い	8	自粛	7
育児	47	気	24	今	16	機会	12	前	10	センター	8	取る	7
子ども	47	足りる	24	準備	16	支援	12	大きい	10	育てる	8	上	7
増える	47	コロナ	23	怒る	16	進む	12	朝	10	我慢	8	状況	7
言う	46	歳	23	違う	15	世話	12	同時	10	感染	8	祖父母	7
手	41	親	23	学校	15	対応	12	風呂	10	姉	8	大人	7
行く	40	兄	22	休み	15	特に	12	良い	10	状態	8	中止	7
連れる	40	行ける	22	公園	15	反抗	12	お金	9	赤ちゃん	8		
思う	39	人	22	場所	15	不安	12	トイレ	9	体力	8		
上の子	39	保育園	20	寝る	15	目	12	ママ	9	注意	8		
泣く	38	友達	20	声	15	預ける	12	ワンオペ	9	発達	8		
家	35	子	19	買い物	15	幼稚園	12	家族	9	比べる	8		
出来る	35	抱っこ	19	イライラ	14	きょうだい	11	楽しい	9	母	8		
ふたごの片方	34	出る	18	取り合い	14	協力	11	気持ち	9	夜	8		
コロナ	32	食事	18	常に	14	激しい	11	少し	9	離れる	8		
聞く	32	疲れる	18	毎日	14	相手	11	睡眠	9	両親	8		
イヤイヤ	30	それぞれ	17	遊び	14	入る	11	長い	9	サポート	7		
外	30	ベビーカー	17	ご飯	13	要求	11	風邪	9	移動	7		

頻出ワードは、自分の時間がない、ケンカが多い増えた、外出が大変といった文脈で出てくるものが多かったです。これだけを見てもどんなことがテーマとして出てくるかは見えてこないなので、共起ネットワークを見てみます。

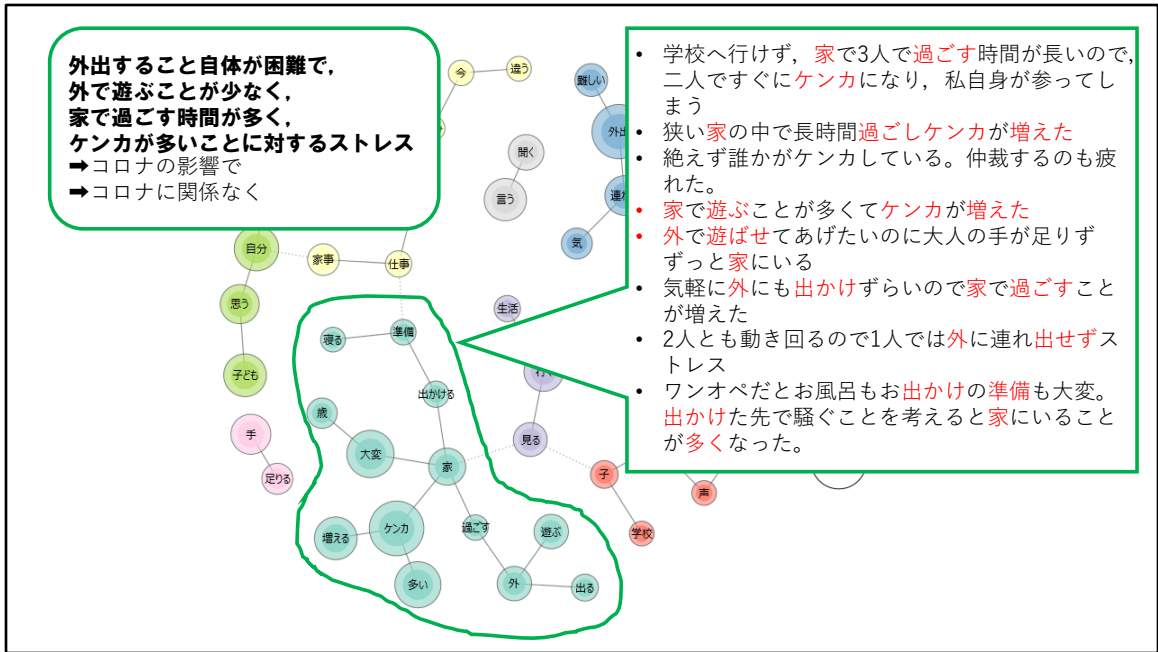


分析対象全体から出てくる共起ネットワークはこのようになります。

共起ネットワークは「特定の語」と「特定の語」（または外部変数）の共起関係から関連性を表すため、文章中によく出現する「語」であっても、共起関係が少ない語は表現されない場合もあります。

また、共起ネットワークの図は、語と語が繋がっているかどうかには意味がありますが、位置関係には意味がありませんので、その点ご注意ください。

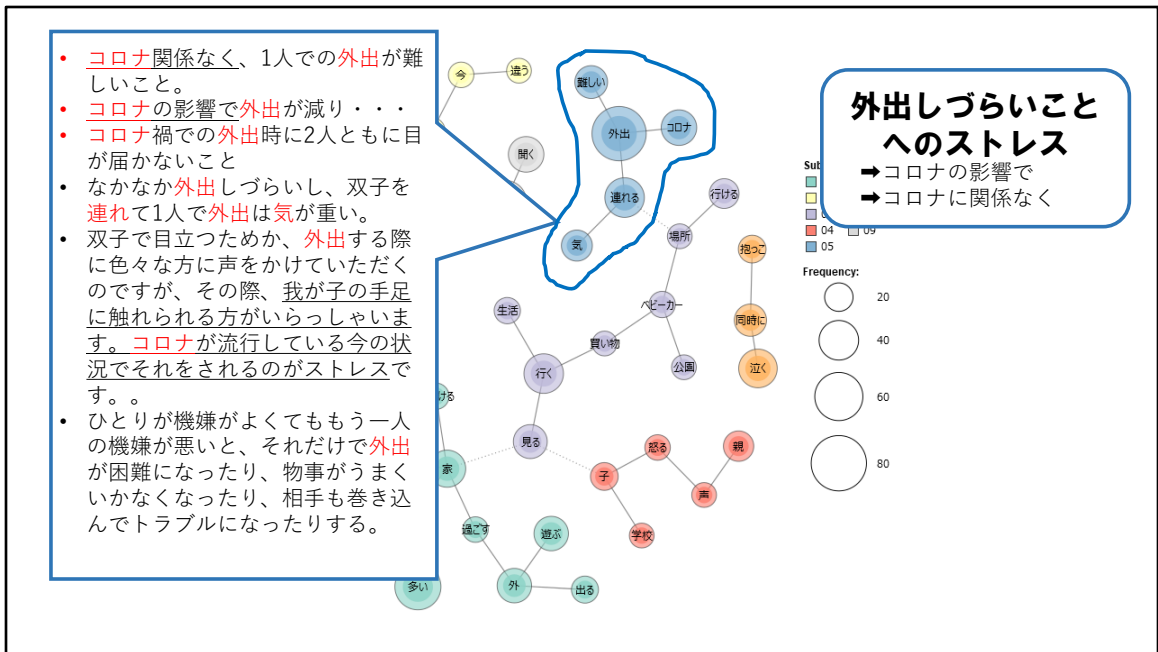
9コのクラスター、固まりとなる共起ネットワークがあり、それぞれ表現されるテーマがありそうです。



1つ目の大きなかたまりとなる共起ネットワークから見えてくるのは、ケンカが多いことに対するストレスです。

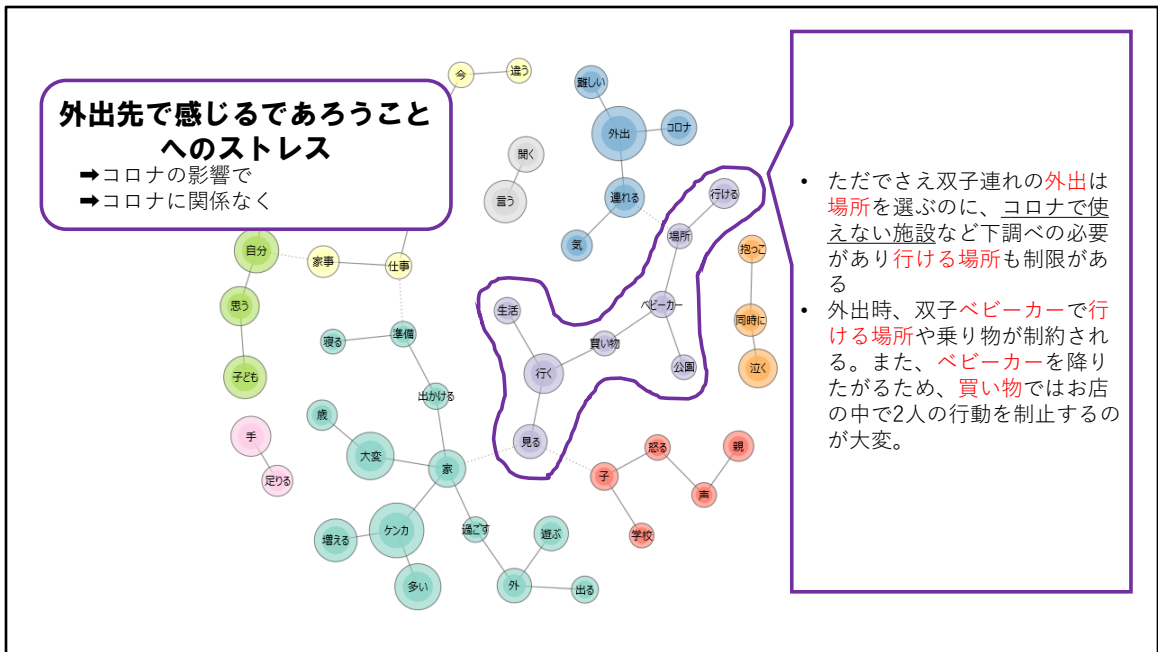
コロナの影響で外出がしづらくなり、家で遊ぶことが多くなってケンカが増えた、というのと、
 コロナの影響は関係なく、そもそも準備や二人のタイミングを合わせる難しさ、人手の問題などで、外出すること自体が大変で家で過ごすことが多いこと多いという、二つの要素が混じっているかたまりになっています。

この2点目のテーマは、次のかたまりの内容と被ります。

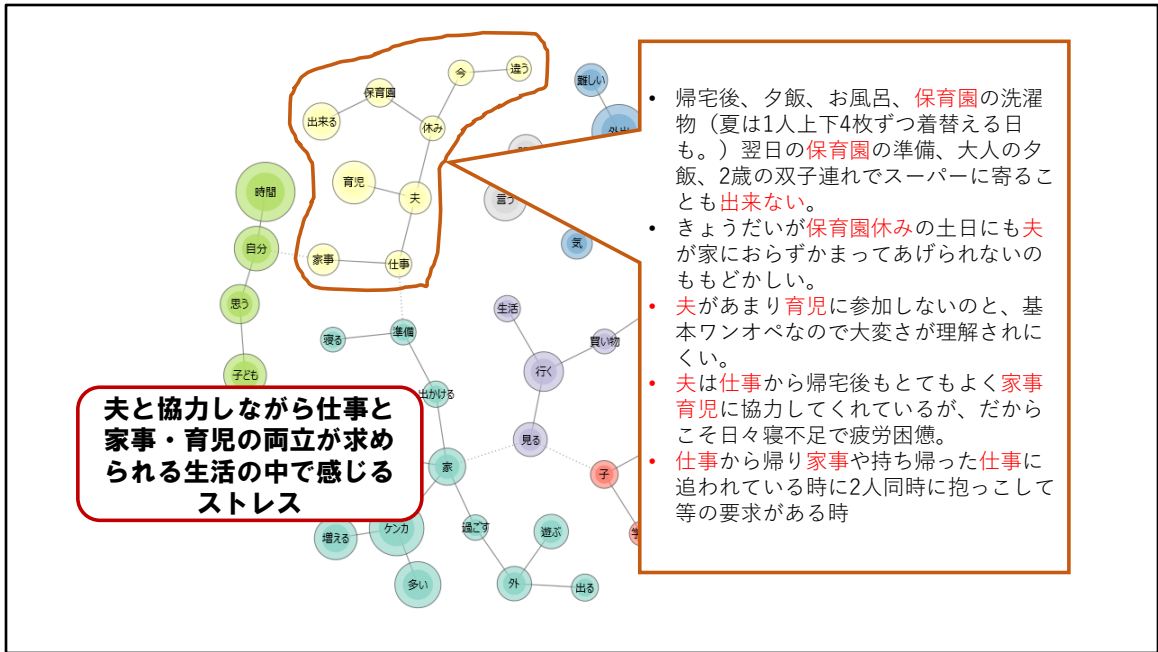


2つめのかたまりを見てみます。

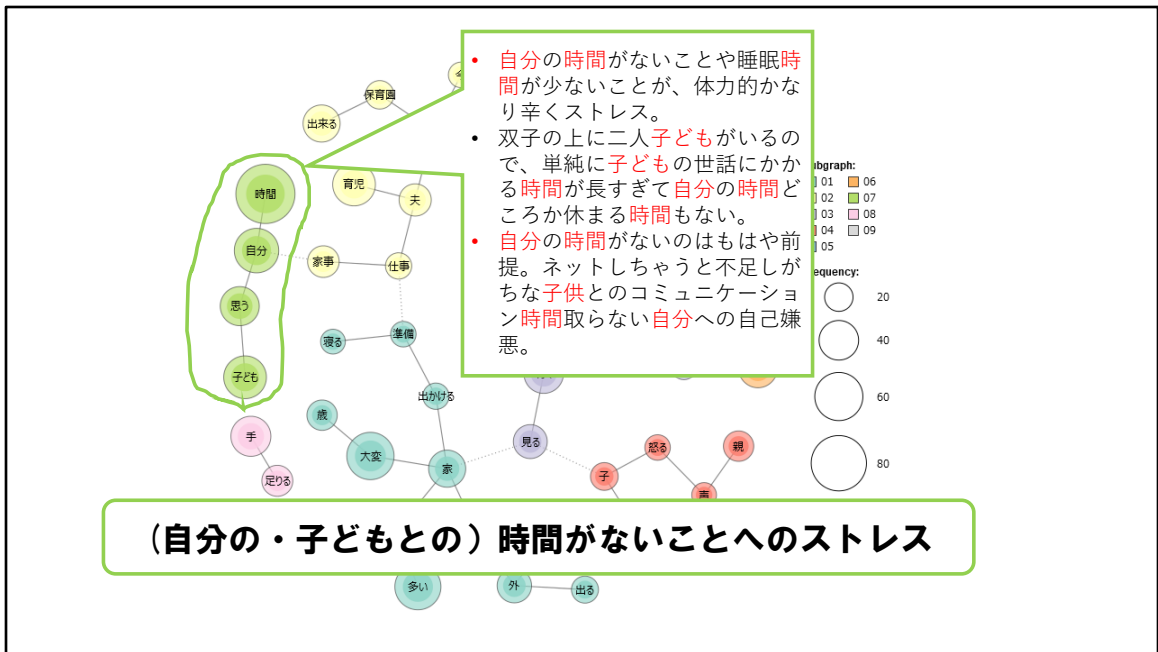
機械的に拾ってくるので、コロナと外出、難しいというワードが共起してるように表現されますが、原文にあたっていくと、コロナ関係なくそもそも外出しづらいこと、と、コロナの影響で外出がしづらいという、2つの内容がありました。



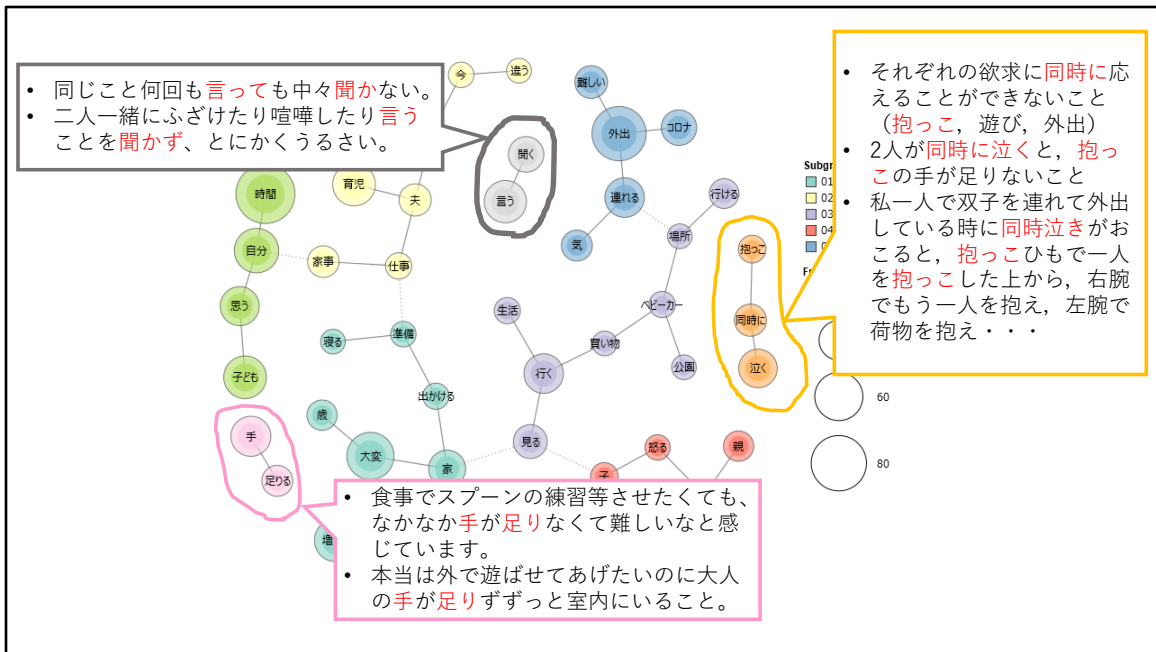
3つ目も、原文をあたっていくと、コロナの影響でという面と、コロナの影響関係なくという面のあるかたまりでした。ふたご用のベビーカーは、単胎児が一人で乗るものと比べてとても大きいので、出かける場所も制限されたり、ベビーカーを降りたがるし、降りたら降りたで二人があっちこっち行ってしまうので大変ということと、頑張って外出したいのに、コロナの影響で行ける場所が制限されていることや、感染するかもしれないと考えると、外出が難しいということでした。



次のは、仕事、家庭、育児の両立、そこには夫との協力関係が必要で、そことのバランスを取りながらの生活の中で感じるストレスになります。夫が協力しているけれども夫婦共倒れ気味とい声もありますが、多くは夫が育児をしない・関心を持っていないみたい・夫が使えない・という声が多かったです。

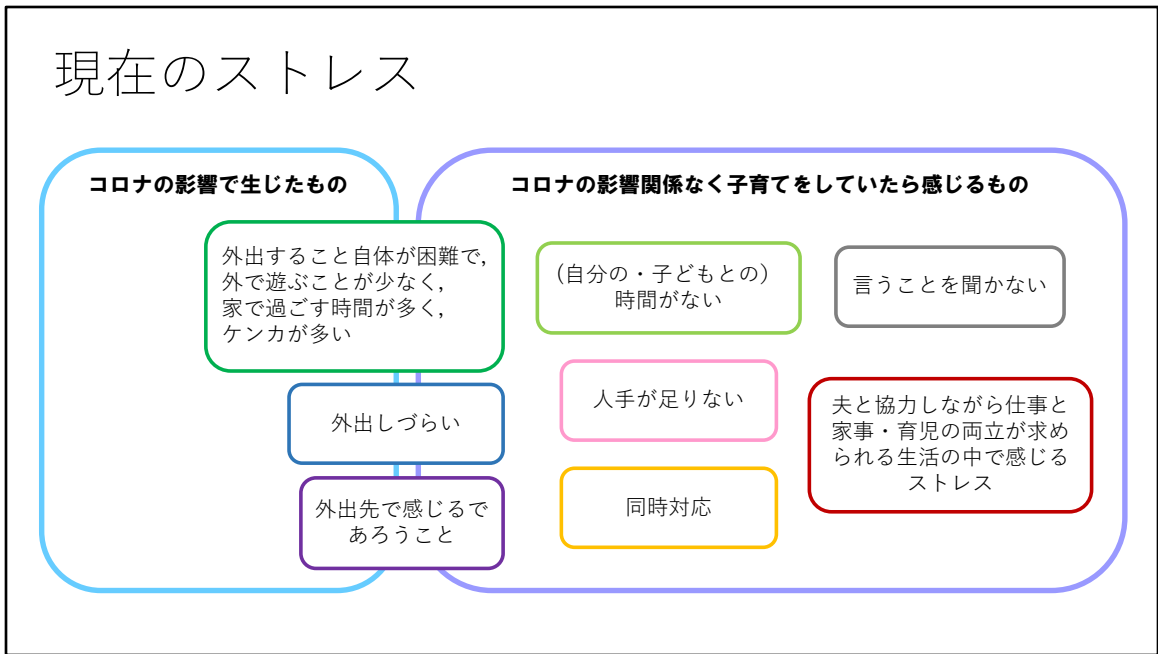


次は時間についてで、自分の時間がないということと、子どもとの時間も無いということへのストレスでした。



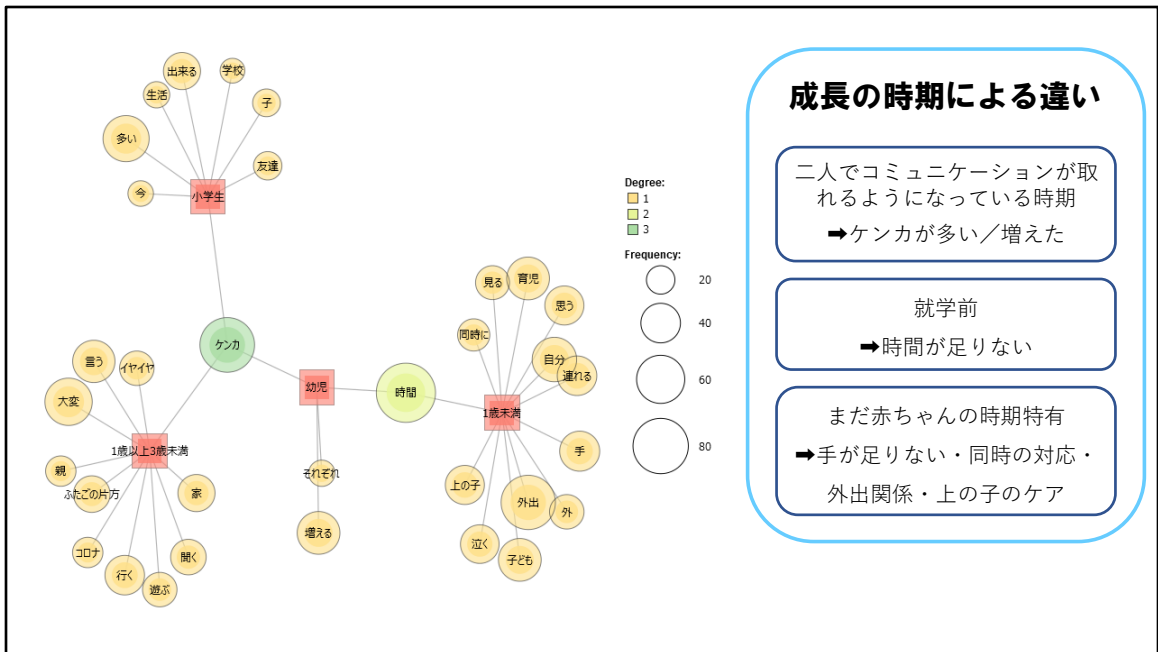
小さい共起関係ですと、子どもが言うことを聞かない、とにかく手が足りないということ、二人が同時に泣いたり、同時に抱っこを求められたりしたときの対応というテーマがあります。

現在のストレス



現在感じているストレスについてまとめると、コロナの影響で生じたものというのもありましたが、コロナの影響関係なく子育てをしていたら感じるストレスのテーマが多かったです。

外出関係については、コロナの影響で生じたものとコロナ関係ないものと両方ありました。



これを、成長の時期によって見えてくる特徴があるか検討してみますと、1歳以上、幼児、小学生では、ケンカというワードでつながれていること、幼児と小学生ではそれぞれのところで、「増えた」「多い」とリンクしているのを見ると、二人でコミュニケーションが取れるようになってきているからこそ生じるケンカの多さ、コロナの影響で家で過ごすことが増えてケンカも増えたことへのストレスというのがありそうです。それは1歳未満の赤ちゃんではありません。

むしろ赤ちゃんの時期では、時間が足りないというのは少し大きくなって共通ですが、手が足りないとか同時対応、外出の難しさ、上の子のケアという、小学生の保護者の声には出てこない、赤ちゃんの時期特有の声、テーマがあることが分かりました。

1歳以上3歳未満のところで「イヤイヤ」というワードがその時期のみに出てくるのも、この時期ならではのいえそうです。

コロナ禍における ふたご・きょうだいの子育ての今後の不安

E-5 今後、どんなことにふたごの子育ての不安を感じていますか？
(ふたご以外にもきょうだいがいる場合は、それについても書いていただければ幸いです)

➤ 除外ワード:「今後」「不安」「心配」「感じる」「思う」

➤ 文 825

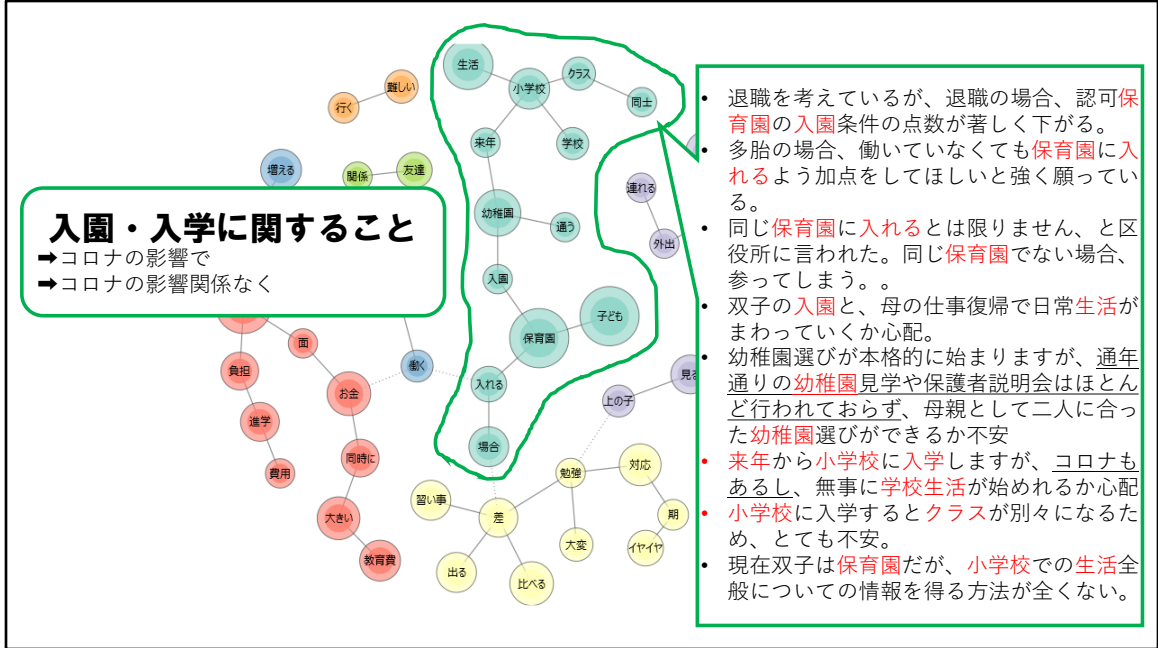
次は、「今後、どんなことにふたごの子育ての不安を感じていますか？」という質問に対する回答です。「今度どんなことに不安を感じていますか・？」という質問に対する回答なので、「今後」「不安」「感じる」というワード、そして「不安」に似た意味の「心配」，「感じる」というワードに似た意味になる「思う」というワードを分析対象から除外としました。

分析対象となった文は825でした。

頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	43	発達	20	少ない	13	夫	10	育休	8	言う	7	運動	6	違い	5
保育園	43	習い事	19	大変	13	勉強	10	学力	8	行ける	7	家庭	6	個性	5
育児	39	出る	19	難しい	13	面	10	機会	8	始まる	7	関わる	6	行う	5
経済	38	場合	19	学校	12	来年	10	経験	8	子	7	強い	6		
金銭	37	親	19	感染	12	両立	10	将来	8	思春期	7	勤務	6		
生活	30	見る	18	気	12	連れる	10	精神	8	時期	7	月	6		
仕事	29	今	18	上の子	12	ストレス	9	続く	8	就学	7	支援	6		
幼稚園	26	差	18	多い	12	一緒	9	他	8	乗せる	7	自粛	6		
出来る	25	進学	18	働く	12	兄	9	体力	8	性格	7	自身	6		
時間	24	人	17	期	11	減る	9	入る	8	送迎	7	受験	6		
お金	23	同時に	17	教育	11	手	9	入学	8	足りる	7	少し	6		
比べる	23	負担	17	行く	11	周り	9	悩む	8	男女	7	先	6		
コロナ	22	学費	16	いつ	10	出費	9	聞く	8	年齢	7	大学	6		
大きい	22	それぞれ	15	外出	10	障害	9	保育	8	必要	7	遅れ	6		
成長	21	イヤイヤ	15	学習	10	状況	9	コロナ	7	復帰	7	能力	6		
対応	21	入れる	15	関係	10	歩く	9	家族	7	無い	7	怖い	6		
教育費	20	友達	15	歳	10	問題	9	過ごす	7	遊ぶ	7	預ける	6		
自分	20	考える	14	通う	10	お互い	8	外	7	余裕	7	来る	6		
小学校	20	クラス	13	同士	10	きょうだい	8	関わり	7	フォロー	6	良い	6		
増える	20	育てる	13	入園	10	ケンカ	8	教育資金	7	ワンオペ	6	ケア	5		
特に	20	影響	13	費用	10	違う	8	現在	7	依存	6	愛情	5		

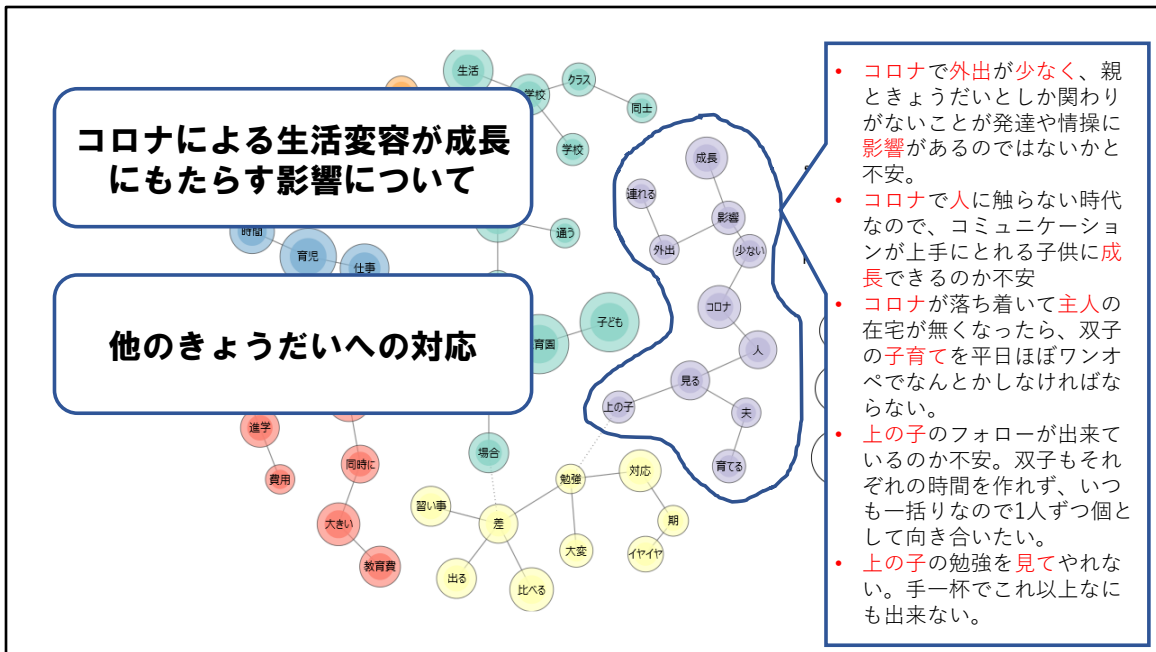
多く出ていた語は、保育園、育児、仕事、という、仕事と子育ての両立という文脈で出てくるワード、経済面・経済的不安という文脈で出てくる、お金に関係するワードが多かったです。
さっそく共起関係を見ていきます。



まずは、入園や入学に関することが1つの大きなテーマとなっていることが見えます。

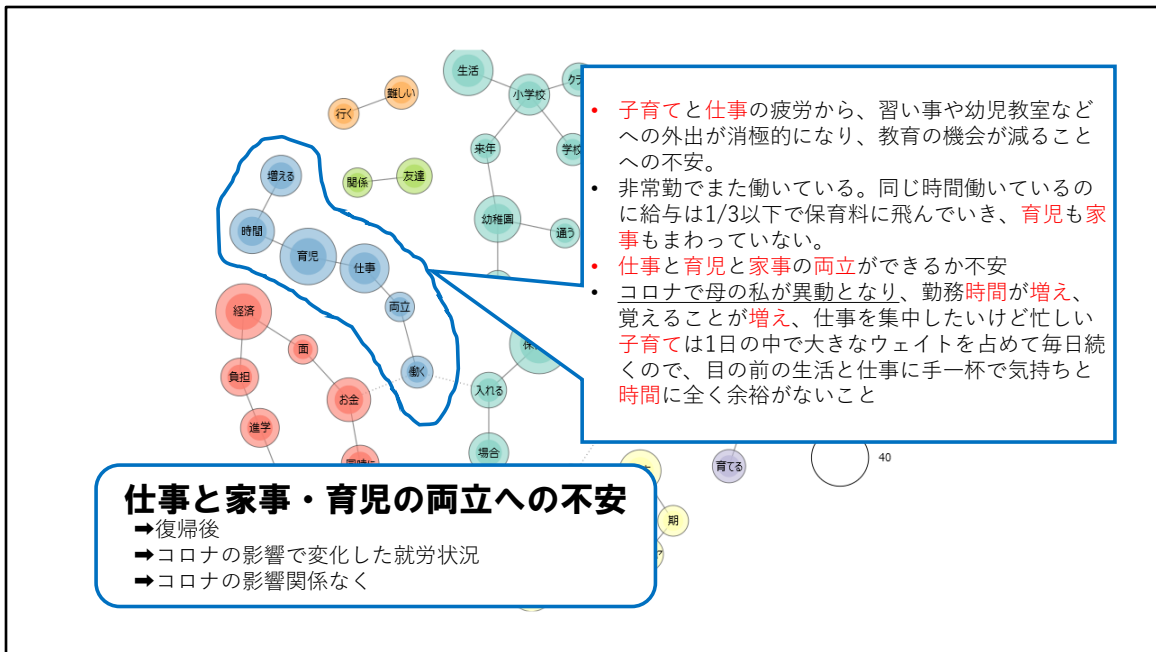
保育園や幼稚園に入れるかどうかという不安、小学校に入って別々のクラスになることへの不安、これはコロナの影響関係なく生じうる心配・不安だと思いますが、

入園にあたり、コロナの影響で例年通りの見学がないなど、入園や入学にあたっての情報を得にくい状態になっていることで生じる不安というものも含まれ、このかたまりも、コロナの影響と影響関係なく生じるものと両方の面が含まれているということになります。



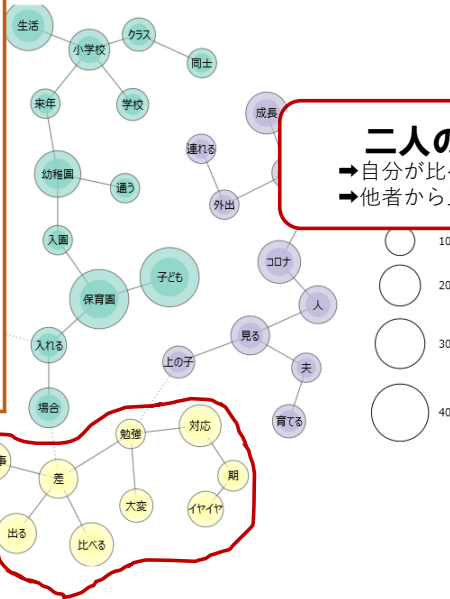
こちらのかたまりで重要だと思ったのは、お母さんたちが不安に思っていることとして、コロナの影響で外出が少なくなったり、おじいちゃんおばあちゃんとも会えないなど、家族以外の人と関わることも少なくなってしまうことが、子どもの心の成長に何か影響があるのではないかと不安が見えてきました。

同じ共起ネットワークに含まれてしまっていますが、別のものとして、ふたご以外の子供たちへのフォロー、ケアが十分にできないことへの不安があります。言葉としては表現されていませんが、上の子へのケアができていないことで、上の子の成長に悪影響がないだろうかという不安なのだと思われま



次ののは、仕事、家事、育児の両立への不安です。
 この中には、今は育休中だけれども、復帰後両立できるだろうか、というまだ起きていないことに対する不安
 既に就労中で、色々なことが回らなかったり、理想通り思うようにはいかない生活での不安、
 そしてコロナの影響で就労状況が変化したことで生じる不安というのが中身としてあると思います。

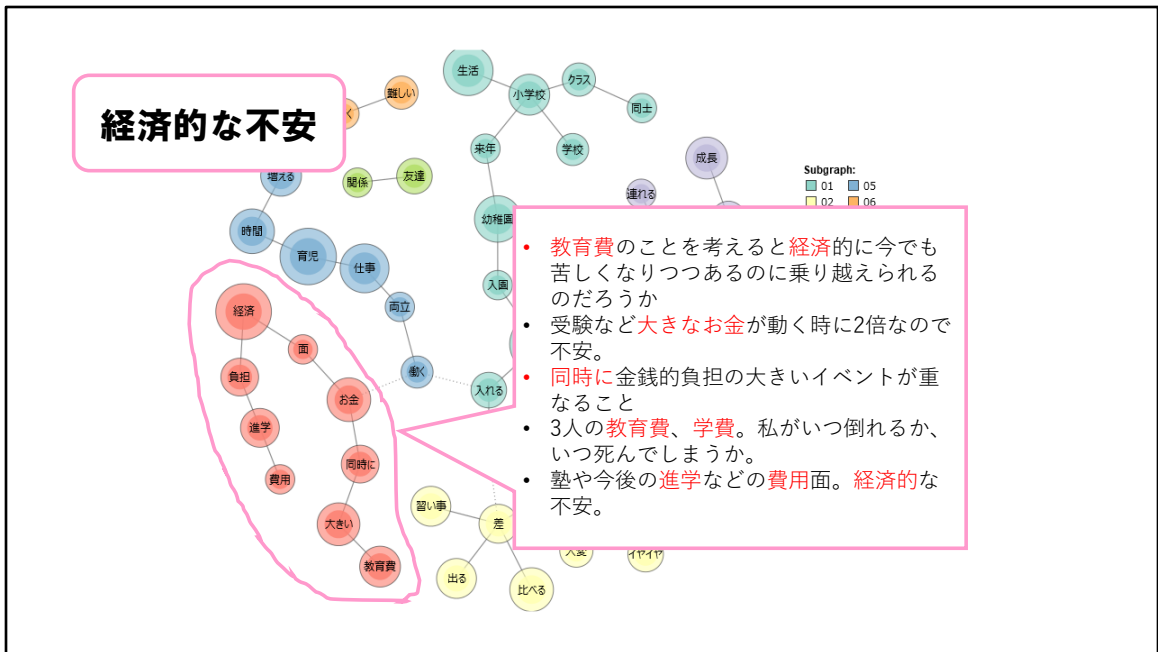
- 2人に対して平等に、**差**をつけたり**比べ**たりせずに個々の人間として接することができるか
- **習い事**や**勉強**の成績において双子の間で**差**が出てきた場合、それぞれにどのように**対応**していけば良いか
- 2人の能力に**差**があった場合(学力や運動能力など)どう**対応**すべきなのか、**比べ**ずに関わられるのか
- **勉強**なども得意不得意が**出て**くると思うが、不得意なほうの子について自分がどう**対応**できるのか、イライラしそうで不安になる。
- どうしてもお互いが**比べ**られてしまうこと。ふたごの**イヤイヤ期**への**対応**ができるかどうか。



二人の違い・差

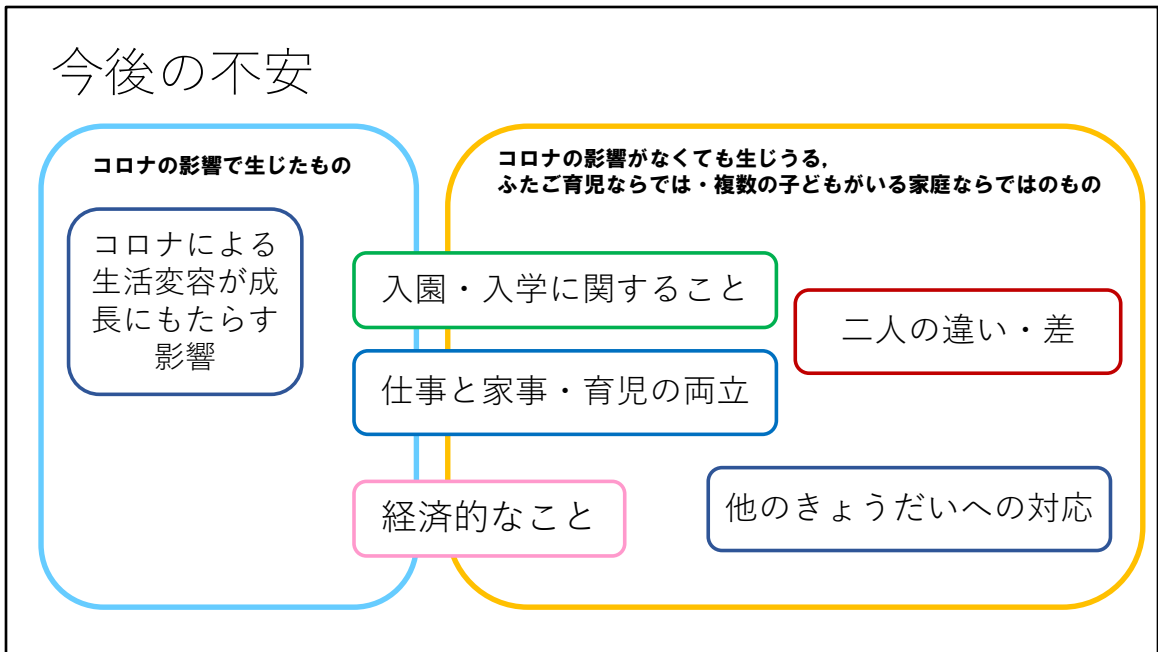
- 自分が比べてしまうこと
- 他者から比べられてしまうこと

次は、コロナの影響関係なく、ふたご育児あるあるの話だと思えますが、二人の性格や能力、色々なところが違うことをどう受け止めていけるかという不安だと思います。親である自分自身が二人を比べてしまうことへの不安と、他人から比べられてしまうこと、そのことをふたごたちがどう感じていくだろうかという不安がの2つが含まれていると思います。



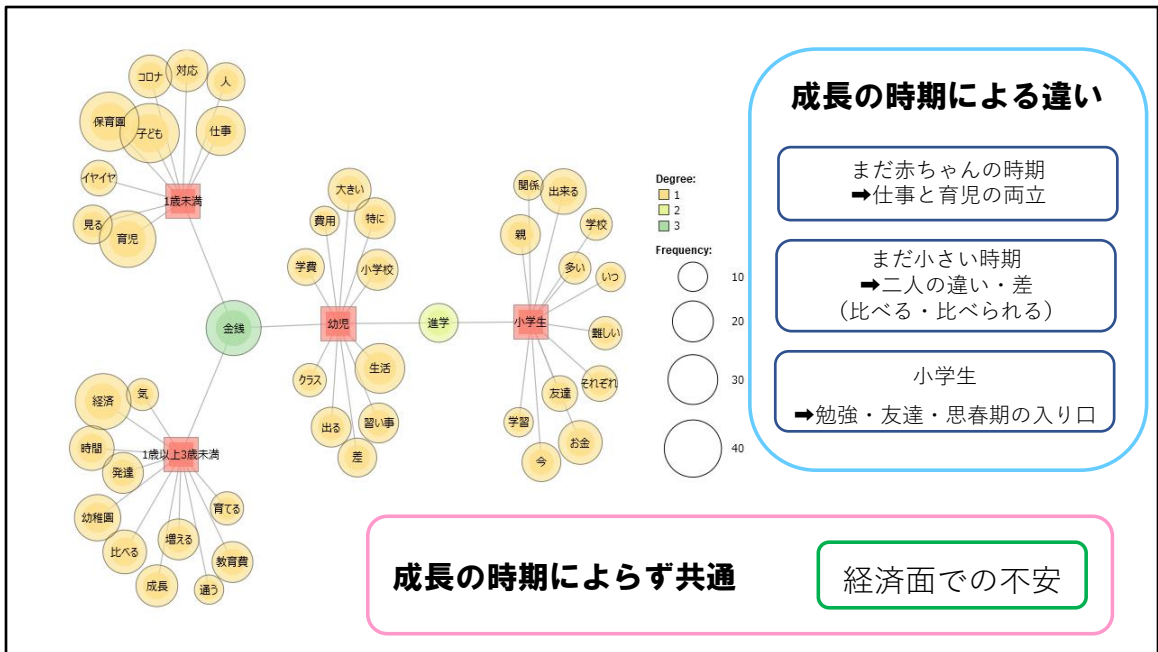
次に大きなのは、教育費に代表される、経済的な不安です。単にお金がかかるということだけではなく、受験や大学進学など、大きなお金が必要になるのが同時であるということへ不安がつづられていました。

今後の不安



まとめると、先のストレスのところと同様に、コロナの影響で生じている不安と、コロナの影響がなくても生じるうる、ふたご育児ならではの、またふたごというだけでなく複数の子供がいる家庭であれば生じる不安とがあるようです。

そして、どちらかという、コロナの影響で生じているものよりも、コロナの影響関係なく生じる不安についての記述が多くありました。



ここでも成長の時期による違いを見てみます。
 まだ赤ちゃんの時期では、仕事と家事、育児の両立についての不安が大きく、乳児期まだ小さい時期では、二人が違うこと差があることそのことへの対応についての不安が特徴的です。一方、小学生では、そのような点については不安は明確ではなく、学習面や勉強面のこと、友達や学校のこと、思春期の入り口にいる子ならではの難しさなどが特徴的と言えそうです。
 そして、赤ちゃんの時期から共通しているのが、経済面での不安ということになります。

コロナ禍における ふたご・きょうだいの子育てで助かっていること

E-7 現在の状況の中、逆にふたごなので助かっていることがあれば教えてください。

➤除外ワード:「助かる」

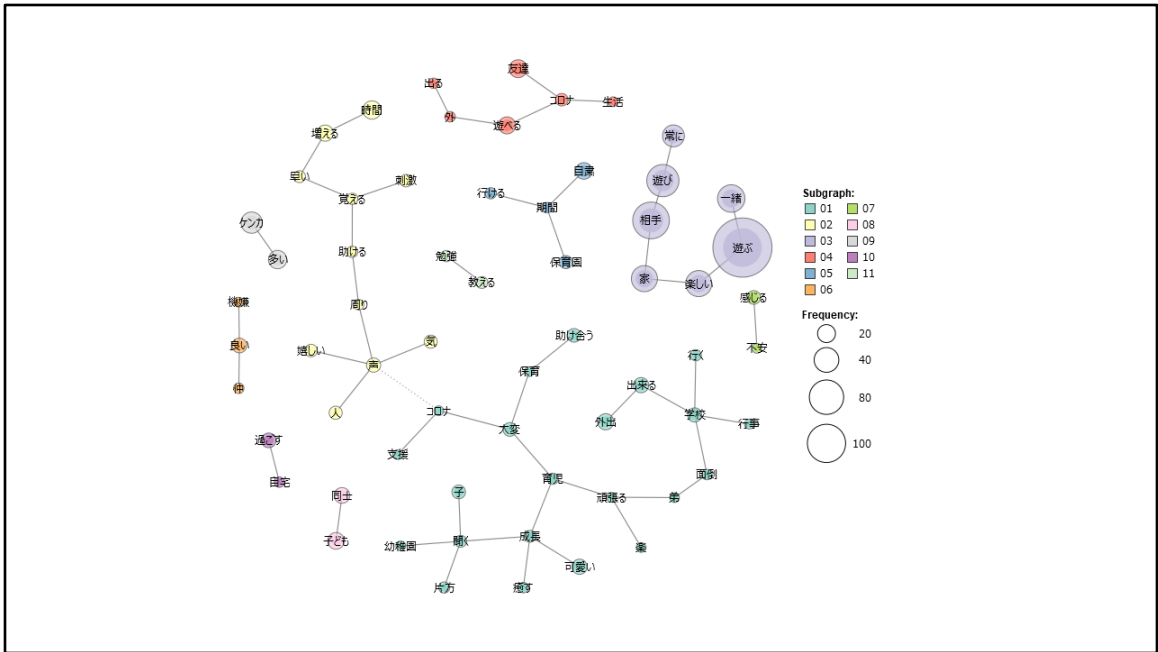
➤文 603

最後に、「現在の状況で、逆にふたごなので助かっていることについて教えてください」という質問に対する回答です。この質問に対する回答なので、「助かる」というワードを除外ワードにしました。文の数は、ストレスについての記述の数と比べてだいぶ少なく、603でした。

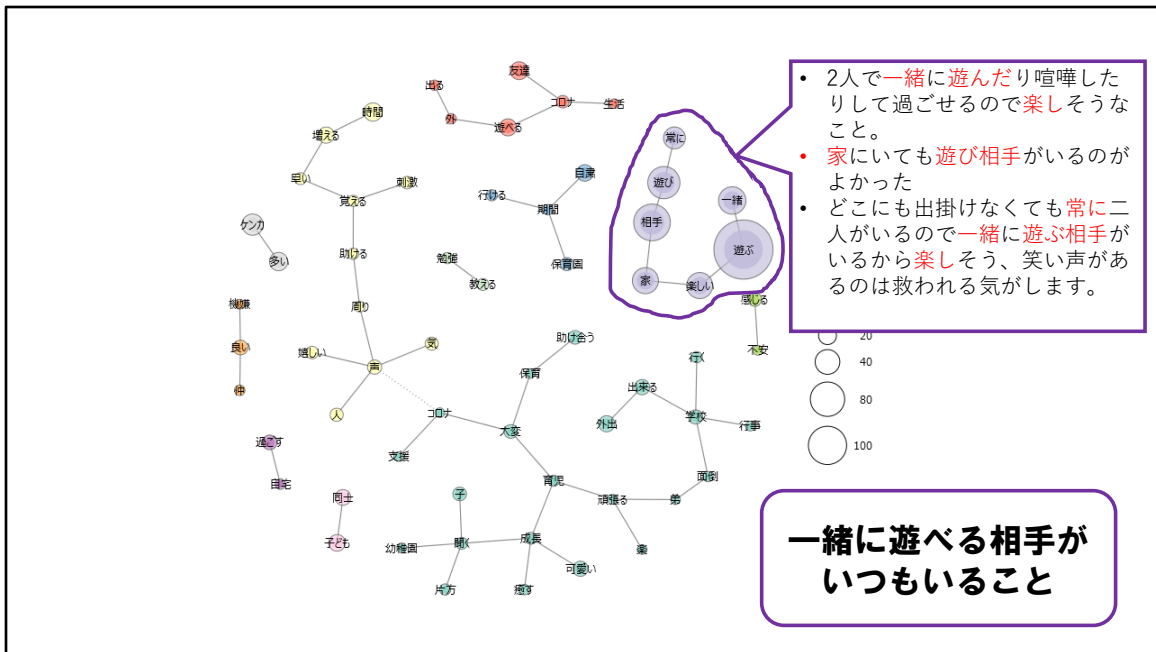
頻出150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
遊ぶ	247	同士	15	自分	9	周り	6	生活	5	手	4	ストレス	3	場所	3
相手	92	可愛い	14	教える	8	出る	6	弟	5	準備	4	センター	3	状態	3
遊び	70	出来る	14	少し	8	勝手	6	不安	5	上の子	4	家庭	3	色々	3
一緒	50	過ごす	13	成長	8	仲	6	保育	5	情報	4	学ぶ	3		
家	45	特に	13	早い	8	面倒	6	毎日	5	状況	4	感じ	3		
楽しい	45	留守番	13	聞く	8	癒す	6	無い	5	進む	4	環境	3		
思う	38	良い	13	本当に	8	話し相手	6	幼稚園	5	貸し借り	4	関係	3		
常に	31	家事	12	安心	7	コロナ	5	お手伝い	4	長い	4	休園	3		
ケンカ	29	学校	12	育児	7	楽	5	ご飯	4	同じ	4	休校	3		
お互い	28	見る	12	覚える	7	頑張る	5	たくさん	4	同年代	4	泣く	3		
仲良く	25	声	12	行く	7	機会	5	ふたごの片方	4	年齢	4	近所	3		
時間	21	感じる	11	行ける	7	機嫌	5	コミュニケーション	4	買い物	4	言葉	3		
多い	21	子	11	助ける	7	気持ち	5	ママ	4	微笑ましい	4	幸せ	3		
友達	20	助け合う	11	片方	7	居る	5	レベル	4	優しい	4	今	3		
寂しい	19	大変	11	勉強	7	協力	5	違う	4	様子	4	困る	3		
遊べる	18	気	10	きょうだい	6	行事	5	会える	4	理解	4	姿	3		
子ども	17	人	10	過ごせる	6	済む	5	関わる	4	励ます	4	持ち物	3		
自粛	17	保育園	10	外	6	姉	5	月齢	4	連れる	4	受ける	3		
外出	16	コロナ	9	期間	6	支援	5	言う	4	話す	4	出かける	3		
親	16	嬉しい	9	歳	6	時	5	合う	4	それぞれ	3	初めて	3		
増える	16	刺激	9	自宅	6	笑う	5	持つ	4	サポート	3	上	3		

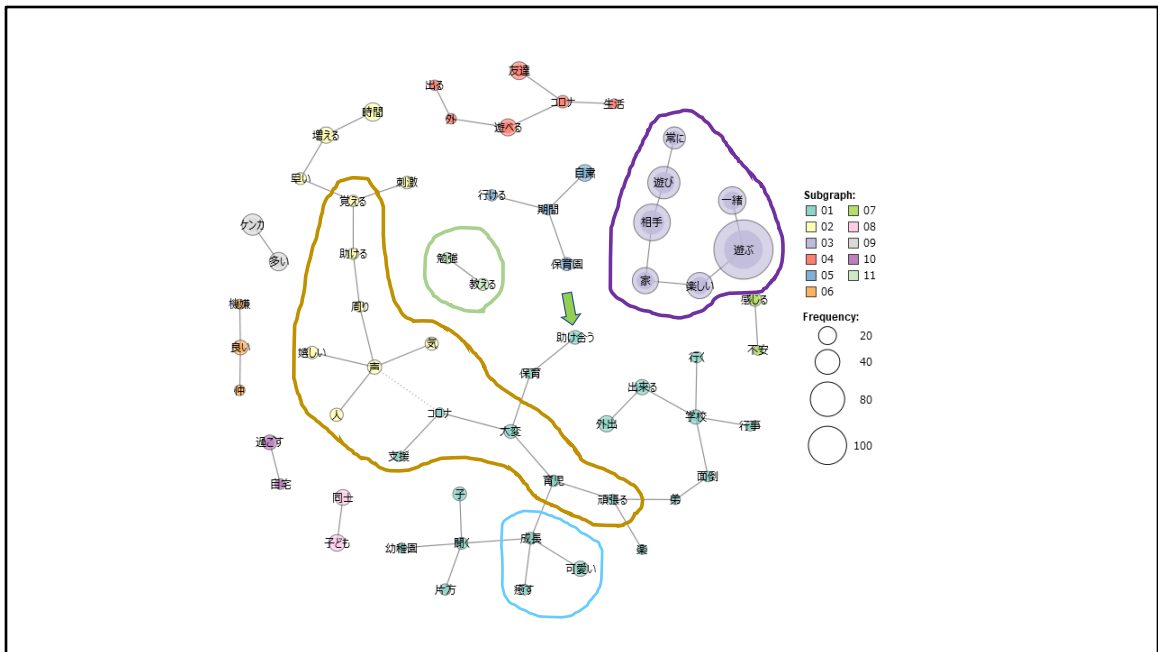
文の数は多くないのですが、偏りというか、出てくる言葉で突出して多いのが、遊び相手がいつもいるという文脈で出てくる、遊ぶ・相手・遊びという語がとても多かったです。



そのことが共起ネットワークに表れています。

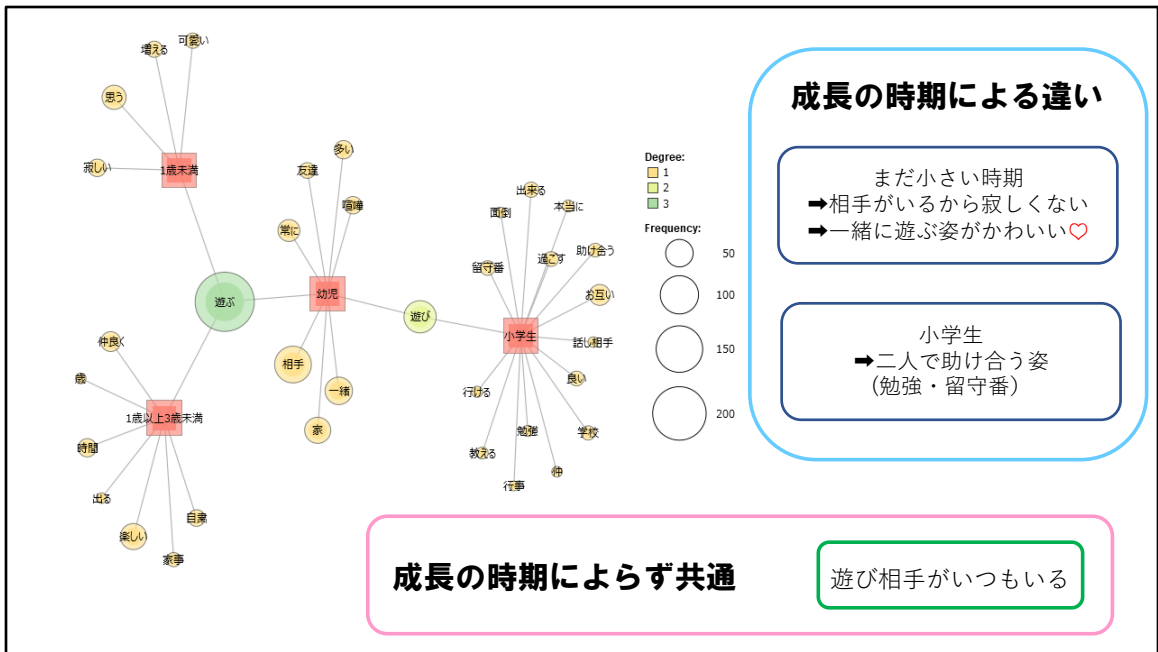


原文に本当によく出てきていましたが、このような状況かふたごであるからこそ返って助かる点として、多くのお母さんがあげているのは、家で過ごすことが多くても、「一緒に遊べる相手がいつもいること」ということでした。



その他の共起ネットワークは、頻度としては少ないのですが、「勉強を教える」だったり、「助け合う」というワードが見られたり、ここにあるように「ケンカは多い」けれども、一緒に遊んだり、勉強を教えたり、助け合えたりという、そういうことも見えそうです。また、二人の成長する姿、かわいい姿を見て、癒されるということもありそうです。

そして、ふたごであることで、ご近所さんなど周りの方に覚えられて声をかけてもらえたり、助けてもらえたりして嬉しいということ、コロナで大変だけれども、いろんな支援を受けて頑張りたいみたいなそういう記述もありました。



また成長の時期による違いについて見てみますと、まだ小さい時期では、相手がいつもいるいるか寂しくなさそう、一緒に遊ぶ姿がかわいいというのがあります。

大きくなって小学生では、二人で勉強したり留守番をしたり助け合えるようになることが、特徴的です。

そして繰り返しになりますが、成長の時期によらず共通してあげられることは、遊び相手がいつもいるということでした。

まとめ

◆現在のストレス・今後の不安

- コロナの影響 < コロナの影響関係なく生じているもの
- 調査時期の影響？

◆助かっていること

- コロナの影響についての言及は少ない
- ふたご状況であるからこそその良い面

まとめますと、現在のストレス・今後の不安としてあげられたテーマは、コロナの影響を受けて生じたものと、そうでないものがあり、どちらかというところ、コロナの影響関係なく生じているものについての言及が多かったです。これは、調査時期の影響もあるかもしれません。去年の春の緊急事態宣言のときのように、街全体が緊迫感に包まれているような時期での調査と、今回の調査のように、なんとなく緩んでいた時期とでは、お母さんの頭に浮かぶ内容が違ってきていた可能性はあると思います。

助かっていることについては、コロナの影響についての直接的な言及は少なかったです。外出がしづらくケンカも増えたけれども、二人で遊んでくれる、二人で助け合っている姿を見られるなど、ふたご状況であるからこそその良い面が自ずから出てきやすかったということはあるかなと思いました。